

放射能分析試験結果報告 2

福島第一原子力発電所の事故から丸1年が経過しました。お亡くなりになられた方にはご冥福をお祈り致します。そして、現在も避難生活を余儀なくされている多くの皆様につきましては一日も早く普通の生活が取り戻せますよう祈願しております。

事故から1年を迎えるにあたり、弊社商品とその原料において、再度、放射能測定試験を行いましたので、その結果を報告いたします。

東京都港区新橋五丁目7番5号 富士屋ビル3階
 アイエス科工株式会社 御中

平成 24 年 3 月 12 日

千葉県千葉市稲毛区山王町 295 番地 3
 財団法人 日本分析センター
 放射能分析業務部長 池内 嘉宏

分析結果報告書

23YE31(2)

1. 契約件名：環境試料の放射能測定
2. 分析項目：γ線スペクトロメトリーによる¹³⁴Cs、¹³⁷Cs及び¹³¹Iの定量
3. 分析方法：分析試料をU-8容器に詰めて、測定試料とした。
4. 測定方法：
 - (1) 測定
 ゲルマニウム半導体検出器を用いて、測定試料を1,800秒間測定し、放射能濃度を算出した。なお、核データは原則としてAtomic Data and Nuclear Data Tables (1983年)に従った。
 - (2) 測定機器
 ゲルマニウム半導体検出器 CANBERRA 社製 GC3020-7500SL
5. 試料一覧及び分析結果

試料名	試料受領日	試料検査日	供試量 (g)	γ線スペクトロメトリー			単位
				¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	
パーミキュライト原鉱	24. 3. 12	24. 3. 12	94.6	** (8.5)	** (8.5)	** (5.9)	Bq/kg
パーミキュライト			24.3	** (32)	** (25)	** (18)	
VS34			35.2	** (16)	** (17)	** (15)	

- 注) 1. 分析結果は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについては有効数字2桁で表し、それ以下のもの(不検出)については**で示し、検出限界を()内に示した。
 2. 測定結果については、検査日の結果である。

以上

以上